

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名	老人ホーム入所措置事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加	所属課	高齢者支援課	担当者名	野口政浩
	基本事業	50	高齢者支援体制の充実	所属班	高齢者保険班	(内線)	2115
				法令根拠	老人福祉法 合志市老人福祉法施行細則		

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	3	1	4	10497			コスト削減優先度評価結果	1*2

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 年度)  期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
 養護老人ホームの入所措置  
**【業務の流れ】**  
 相談、申請、実態調査、地域ケア会議、決定、菊池圏域合同入所判定会議、入所決定、入所措置費決定、入所負担金決定、入所立会、入所者の実態調査、退所事務、退所立会、収入申告書による入所措置費変更事務、入所負担金納付書発行送付(毎月)、措置費支払事務(毎月)、振込み手数料支払。滞納繰越事務、決算事務、収納年次処理事務。  
**【主な予算費目】**  
 報酬 旅費 役務費 負担金補助及7(交付金 扶助費  
 1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 養護老人ホーム入所。入所措置人数19名(3月31日現在)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同じ。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 養護老人ホームへの措置を必要とする高齢者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 入所措置人数 人 → イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 低所得者及び身寄りのない高齢者の保護・措置し安心した生活をおくる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 入所を必要とする高齢者の数 人 → イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 高齢者を支援する体制が整い、適切な介護支援を受けられる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 保護・措置した人数 人 → イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 介護サービス利用者の満足度 % → イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 の み 記 載)  0          0  0	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円	5,940	6,989	7,232	6,523	7,178	7,000		7,000
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	41,220	33,202	34,195	33,157	32,563	34,000	34,000		
	(A) 事業費計	千円	47,160	40,191	41,427	39,680	39,741	41,000	41,000		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	2	4	4	4	4	4	4	4		
延べ業務時間	時間	390	311	350	136	350	311	311			
(B)人件費計	千円	1,548	1,238	1,393	541	1,393	1,238	1,238	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	48,708	41,429	42,820	40,221	41,134	42,238	42,238	0		
活動指標	人	19	19	20	20	20	20	20	20		
対象指標	人	20	20	20	20	20	20	20	20		
成果指標	人	2	2	2	2	2	2	2	2		
上位成果指標	%		69.7	80	69.7	80	80	80	80		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
老人福祉法施行時の昭和38年頃。養護措置が必要な高齢者を老人ホーム等に入所の措置を行う。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
入所基準の身体上、精神上の事情が削除になった。  
入所の相談件数が増加した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
入所基準の身体上、精神上の事情が削除になった。  
入所の相談件数が増加した。

事務事業名	老人ホーム入所措置事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 老人福祉法第11条により必要な措置をとっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 老人福祉法第11条により必要な措置をとっている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 措置が必要な高齢者が安心して生活をおくるための事業である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 養護が必要な高齢者を積極的に措置する。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 措置が必要な高齢者が暮らしていけない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 老人福祉法の規定によるものであり、他の法の適用はない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 入所措置が必要な高齢者を措置する費用であり削減できない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 入所相談が増加しており削減できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 養護を必要とする高齢者の措置であり、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、養護が必要な高齢者を積極的に措置する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 措置の必要な高齢者を措置する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>△</td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持					低下	△		△
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	△																			
	維持																						
	低下	△		△																			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
在宅で生活できる方法を提供する。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	11	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )